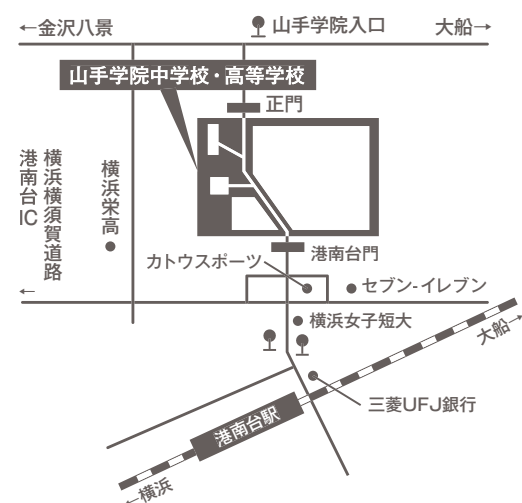


MAP



ACCESS

- JR 京浜東北・根岸線 港南台駅下車 徒歩 12 分
横浜駅～港南台駅 24 分 大船駅～港南台駅 7 分
- 横浜市営バス 45、111 系統ほか 横浜女子短期大学前下車
- 神奈川中央交通バス 大船～金沢八景線ほか 山手学院入口下車

ADDRESS

- 〒247-0013 神奈川県横浜市栄区上郷町 460
- 045 (891) 2111
- www.yamate-gakuin.ac.jp



YAMATE

山手学院中学校・高等学校

YAMATE

山手学院中学校・高等学校 2025 年度 学校案内

'25



山手学院は、「未来への夢をはぐくみ、

その夢の実現をたくましく になっていく人」

すなわち、「世界を舞台に活躍でき、世界に信頼される人間」

を育成することを、建学の精神としています。

教育方針

建学の精神を実現するために、

本校では「三本の柱」を教育方針に定めています。

三つの柱の中心にある自由とは、

自らに誇りを持つとともに、他者の誇りと

他者の自由を尊重する姿勢の上に成り立つ自由、

すなわち「Wise Freedom」です。

三本の柱

国際交流教育
Global Understanding
and Cultural Exchange

自由
Wise Freedom

教科教育
進路指導
Learning for Life

誠人教育
The 3 Cs

●Courtesy 礼儀正しさ
●Compassion 真心・思いやり
●Courage 勇気

「新たな時代への挑戦」



IoTで人とモノがつながり、AIにより必要な情報が必要ときに提供され、ロボットや自動走行車で人の可能性が広がり、社会の変革によって多様なニーズに対応するSociety5.0時代が到来しつつあります。

この新たな時代は、決してAIやロボットに支配され監視されるような未来ではなく、

一人ひとりの人間が中心となる社会であり、世界の多様な課題の解決にも通じる社会です。

加速度を増して変化し、複雑で予測困難となってきた社会では、

答えのない問いに対して挑戦し、新たな価値を生み出していくことが求められます。

山手学院は、生徒一人ひとりに寄り添い、新たな時代への挑戦を全力でサポートします。

さらに自らに誇りを持つとともに、あらゆる他者の誇りと自由を尊重し、多くの人と協働しながら社会的変化を乗り越え、

持続可能な社会の創り手となることができるよう、その資質と能力の育成を目指します。

新時代に挑む結果として、成功と失敗が生まれます。発明王、トーマス・エジソンはこんなことを言われていました。

「もう1万回は失敗しているじゃないか。電球の発明から手をひいた方がいいのでは？」と。

これに対してエジソンは、「私は失敗したことがない。ただ1万通りのうまくいかない方法を見つけたただけだ」と答えました。

たとえ失敗しても、新たな一歩と考えて挑戦し続けてください。

そして、よりよい未来を創造するために世界の舞台で活躍し、世界で信頼される人間になり、最終的には、

個人と社会の多様な幸せ (well-being) を実現してほしいと思っています。

校長

簗田 大

国際教育

独自の国際交流プログラムとGLP (Global Leader Program)のもと、
中学3年から世界を体験します。異文化にふれ、新しい自分の発見につなげています。



「世界を舞台に活躍でき、世界に信頼される人間」を育成するという目標を実現するためには、
単に教室の中で世界について学ぶだけではなく、中学・高校という多感で柔軟な吸収力のある時期に、
直接「世界」の中に飛び込み、体験することが必要だと考えています。

山手学院で学ぶすべての生徒にその機会を与えるのが、本校の国際交流プログラムです。

中学3年でのオーストラリアホームステイ、高校2年での北米研修プログラムを柱として、
ニュージーランド中期留学、国連世界高校生会議 (UNIS-UN) への生徒派遣などを行っています。

GLP (Global Leader Program) では、身のまわりから世界の課題にまで目を向けて解決策を見出していく
SDGsやアントレプレナーシップ、プログラミングについて学ぶ講座、
シンガポールやプリティッシュヒルズでの研修など多種・多様なプログラムを実施しています。



国際社会で活躍する人間に
育つために、
何を心がけるべきなのでしょうか？



国際交流部長 佐藤 友則

グローバル化が進む世界。現代は、「世界で活躍する人材＝握りのエリート」という時代ではありません。いろいろな立場の人が国境を越え、従来以上にさまざまな分野で活動することが当たり前の社会になっています。ではその国際社会において、日本で学ぶ子どもたちが活躍する人間に育つためには、何を心がけるべきなのでしょうか。

山手学院の建学の精神である、「世界を舞台に活躍でき、世界に信頼される人間」の育成を実現するためには、教室の中で世界について学ぶだけでなく、多感で柔軟な吸収力のある時期に、直接「世界」に飛び込み、自ら経験することが必要です。

本校の国際交流プログラムは、すべての生徒が参加する中学3年でのオーストラリアホームステイ、高校2年での北米研修プログラムを柱として、世界各国への1年間の留学制度、ニュージーランドへの3カ月の留学制度、世界各国の代表と議論する国連世界高校生会議 (UNIS-UN) への生徒派遣などを行います。

GLP (Global Leader Program) は、SDGsを学び世界に目を向けるEyes on the Worldや、シンガポール国立大学で行うイマージョンプログラムなど、中学3年・高校1年の2年間にさまざまなプログラムを行います。

単に英語を話せるようになることを目標とせず、お互いの文化の違いを知り、それぞれの文化のよさを見出すことを通して、文化の差に阻まれないコミュニケーション能力が身についていきます。多様な仲間とふれあうことで、ものごとに対する考え方が豊かになり、新しい環境に飛び込むことで、今まで気づかなかった自分を発見することにもつながっていきます。

自らの意思で学び、自らの力で行動する。そのためのツールとして語学力を高めながら、知らない土地への好奇心や異文化への理解を深めていく。これがグローバル化した「世界」におけるスタンダードであり、世界で個々がパーソナリティーを発揮し、人々の信頼を得て活躍していく原点だと思います。そして、それが自然に身についた大人に育っていく環境が、山手学院にはあります。

国際交流プログラム

中高一貫の山手学院ならではの多彩な「国際交流プログラム」を通じて、広くて多様な世界を実感し、世界基準の視野を育てます。

3年(中3)

4年(高1)

5年(高2)

6年(高3)

オーストラリア
ホームステイ



ニュージーランド
中期留学
(中3希望者)



- 説明会
- 夏の講習
- 冬の講習
- 春の講習
- 直前講習

北米研修プログラム

北米ホームステイ



リターンビジット



国連世界高校生会議
(UNIS-UN)
(高1～高3希望者より選抜)



世界基準の
視野を持つ

オーストラリアホームステイ



山手学院での国際交流の第一歩となるのが、中学3年生が全員参加で11月初旬に6泊7日の日程で行うオーストラリアホームステイです。中学1年から築き上げた英語力を試すよい機会として、また総合的な学習の一環として実施し、今年度で23年目を迎えます。木曜夜に日本を出発、金曜朝にオーストラリアに到着後、夕方にホストファミリーと対面。2人1組でお世話

になります。翌週月曜からは、現地の学校を訪問。オーストラリアの子どもたちと打ち解けて、楽しい時間を過ごします。この5日間のホームステイプログラムは、海外への興味・関心を深めたり、より高い目的意識を持って学習に取り組んだり、向上心を育むきっかけになり、高校2年で行う北米研修プログラムへとつながっていきます。

ニュージーランド中期留学



この留学プログラムは、中学3年の3学期に実施されます。到着後、現地の文化や習慣、生活方法について研修を受けてから、現地の学校に編入します。約3カ月間を過ごした後に帰国し、高校の入学式を迎えます。15歳という柔軟な時期に、保護者のもとを離れて、自らの力でホストファミリーやクラスメイトと英語でコミュニケーションをはかる留学プログラムは、6年一貫だからこそ選択できるプログラムのひとつです。

北米ホームステイ



高校2年生全員参加で1969年度から行っています。4月中旬、15泊16日の日程で、カナダ、アメリカの都市へ行き、2人1組でホームステイをします。日本の文化紹介やパフォーマンスを行うほか、現地の学校の行事に参加。世界を肌で感じる2週間です。

リターンビジット



山手学院の生徒が訪問したアメリカやカナダの生徒を7月下旬に日本に迎え、山手生の家庭にホームステイをしてもらいます。山手生と一緒にクラブ活動を行ったり、地域での活動に参加したり、横浜・鎌倉・浅草などを散策したりします。

国連世界高校生会議 (UNIS-UN)



ニューヨークにある国連国際高校の生徒たちが中心となり企画して行われるこの会議は、毎年3月上旬、国連本会議場を舞台に開催されます。世界を取り巻く問題をテーマに、関連分野の第一線で活躍する方々をゲストスピーカーとして招き、世界数十カ国の高校生と意見交換・交流を行います。本校は1993年から参加しています。



Global Leader Program

20年後の世界で活躍する人材、「Change Maker」の育成に向けて。

本校では、建学の精神である「世界を舞台に活躍でき、世界に信頼される人間」を育成することを掲げ、

創立以来の長きにわたり国際交流教育を柱とした教育活動を進めてまいりました。

さらに、今まで行ってきた国際交流プログラムに加え、新たな国際教育となるGLP (Global Leader Program) を開始しています。

このGLPを通してSociety 5.0の未来を生き抜く力と協働力、英語力やプログラミング能力を育成するための機会を多数設けましたので、

ここで紹介いたします。GLPは中学3年生・高校1年生を対象としたプログラムで、

子どもたちの非認知能力を育成することをテーマとしています。

Webプログラミング



Eyes on the World



ラジコンカーで学ぶ自動運転技術



北米文通プログラム



GLOBAL TECH



じっくり考える会～哲学対話～

SEASON TECH

みんなのリーダーシップ講座

国内GLPツアー

循環型まちづくりのしくみを考える



APU 次代を拓く人材育成キャンプ



ブリティッシュヒルズ英語研修



海外GLPツアー

シンガポールイマージョンプログラム@NUS



台湾を留学生とめぐる



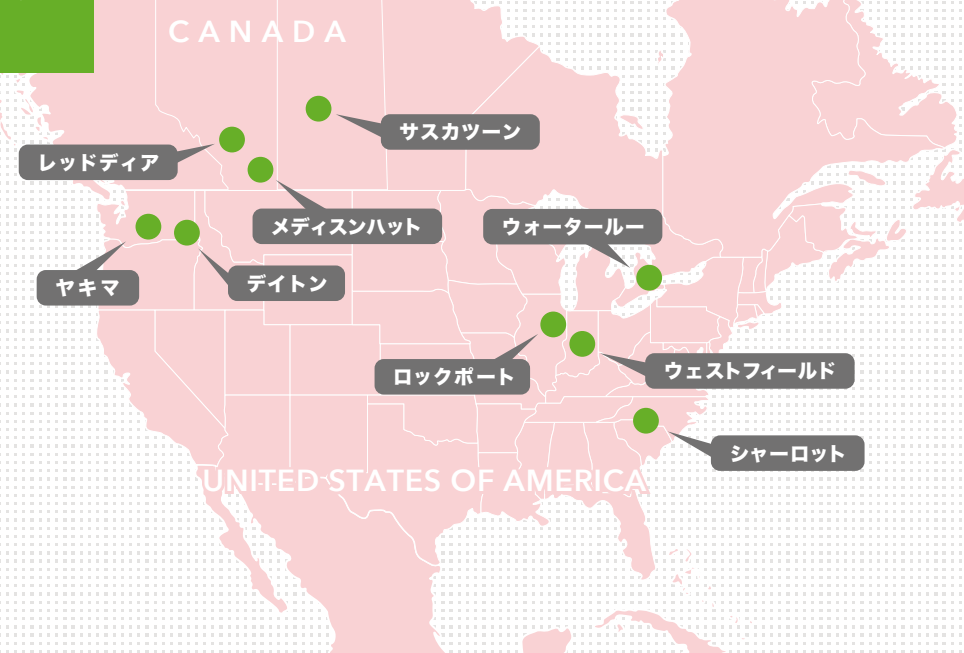
第56回 北米ホームステイ (2024年)の訪問先

カナダ

訪問先	参加生徒数
レッドディア	67
メディスンハット	37
サスカトゥーン	64
ウォータールー	70

アメリカ

訪問先	参加生徒数
ウェストフィールド	31
ロックポート	31
シャーロット	38
ヤキマ	71
デイトン	36



中高6年間を通した教科指導は、手厚くきめ細やかです。
確かな学力を育て、未来の可能性を広げていきます。



中高6年間で3期に分け、
基礎学力の要となる科目に
十分な時間をかけていきます。



教務部長 島田 和彌

教科指導は手厚く、きめ細かく行っています。6年間の山手学院での
学びを修了したとき、その先の世界で通用するために必要な総合力と個
性を養い、未来に羽ばたけるように準備をします。

中学高校の6年間で3期(前期:中1中2、中期:中3高1、後期:高2高3)
に分け、週34時間に縛られず、基礎学力の要となる科目に十分な時間をか
け、確かな学力を育てます。

前期:漢字コンテストなどを通して基礎学力を、授業を通して考える習
慣を育成します。英語に関してはEnglish(山手学院独自教材)で
コミュニケーションスキルなど、より豊かな能力を育てる教育を
実践しています。

中期:中3では選抜クラス(2クラス)を設置し、ある程度発展的な学
習にまで取り組みます。またクラスの人数を少なくすることで、
すべての生徒の学力向上を目指します。

後期:選抜クラスは難関国公立大を目指し、一般クラスは文系・理系の2
コースに分け、効率よく指導します。選択授業も充実しています。

6年間の学び

1年(中1)	2年(中2)	3年(中3)	4年(高1)	5年(高2)	6年(高3)
学びの特徴					
基本的な生活習慣・学習習慣の確立		可能性に挑戦する姿勢の育成		自己の将来への取り組みと開拓	
漢字コンテストなどを通して基礎学力を、授業を通して考える習慣を、行事やクラブ活動を通して挑戦する姿勢を育成します。家庭学習との連携を重視していきます。		3年(中3)から高校レベルの内容に取り組む教科もあります。少人数授業によって、中下位層に手厚く、上位層にはさらに刺激を与え、すべての生徒の学力向上を目指します。		選抜2クラスと、文系・理系に分け効率よく指導。また土曜講座も使って、選択演習を充実させています。	
学びの具体的な取り組み					
★体系数学(数研出版)	★体系数学(数研出版)	★先行カリキュラム開始	★進路選択説明会	★共通テスト報告会	★大学入試説明会
●校外活動(中1)	●校外活動(中2)	●オーストラリアホームステイ	●模擬試験	★模擬試験	★模擬試験
●スケッチコンクール	●スケッチコンクール	●漢字コンテスト(漢検含む)		★大学模擬講義(早稲田・明治など)	
●漢字コンテスト(漢検含む)	●漢字コンテスト(漢検含む)			●北米研修プログラム	
● 基本的な学習 ★ 進学のための学習					

6カ年一貫コース

1年（中1）	2年（中2）	3年（中3）	4年（高1）	5年（高2）	6年（高3）
一般クラス	一般クラス	選抜クラス（2クラス）		選抜クラス（2クラス）	
● 各クラスの男女比が同じになるようにクラス分けをします。 ● English・技術家庭の授業を1クラス2分割で行なっているほかは、すべてホームルーム単位の授業となります。		一般クラス	一般クラス	文系クラス	
		● 「選抜クラス」2クラスと「一般クラス」4クラスに分かれます。 ● 「選抜クラス」では、ある程度発展的な学習にまで取り組みます。 ● 「一般クラス」では、1年（中1）・2年（中2）よりもクラスの人数を少人数にして授業が行われます。3年（中3）から4年（高1）、4年（高1）から5年（高2）に進級するとき「一般クラス」から「選抜クラス」に入ることができます。		理系クラス	
中学校での英語教育 1年から3年までの総合学習の時間でEnglishを行います。1クラスを2分割し、それぞれネイティブスピーカーの教員が教えます。英語学習に最適なテキストを使用し、スライド等を多く用いて授業をしています。3年で全員参加のオーストラリアホームステイに向け、さまざまなシチュエーションでの表現練習や日本人が間違えやすい「数」や「冠詞」、「動詞の語法」などを学びます。				国公立志望者にも対応しています。	

教科の特色

6年間を通じた段階的な指導、教科ごとに工夫を凝らした授業で、真の学力を培います。



国語

国際社会で活躍する人間にふさわしい高い言語能力と、それを支える教養ある人格の育成を目指し、国語科ではその基盤になる日本語の歴史・文化・意識をよく「学び」、深く「理解し」、現代に生きるものとして「考え」、他者に対して「表現する」力を育てます。中学では、まず自主的に学習に取り組む姿勢を確立します。ノートの取り方や辞書の扱い方、試験勉強の仕方などを身につけていきます。高校では、進路に応じた取り組みを進めていきます。全学問の基盤となる言語能力を高め、多様化する受験制度に対応できる学力をつけます。



社会

世界の枠組みが大きく変わり、異文化との交流が増え、新たな選択を迫られている現代にあって、日本と世界の過去と現在を知ることは、かつてなく重みを増しています。社会科では、知的探究心や多角的視点を養い、世界市民としての公正な判断力と、その根拠となる教養を身につけることを目標に、問題解決型のグループ学習などを通して、高度な理解を目指します。中学1年で「世界」、中学2年で「日本」をテーマに、地理・歴史を相互に関連づけながら学習。中学3年では近現代の日本の歩みを学び、現在の政治や経済への理解を深めています。



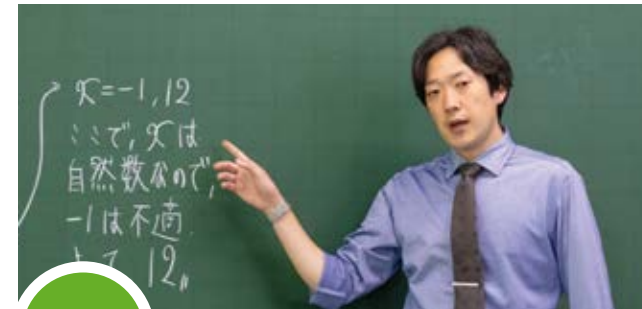
理科

科学的な思考力と考察力を育成することをテーマとしています。実験観察を多く行い、生徒が自ら学び探究する機会を増やしています。多くの生徒が実験に参加できるよう、実験器具や薬品は数多く揃えています。実験を通して得た自然現象に対する驚きや感動は、本当の学力として高校での学習や大学受験に役立つだけでなく、卒業後も世の中のさまざまな現象に興味を持つ原動力になります。また、タブレットを用いたICT教育にも力を入れています。高校2年以降の理系クラスでは、入学試験に合わせた指導を実施し、真の理科的思考を育めるように指導しています。



英語

英語を「読み・書き・話し・聞く」だけでなく、相手を知り自分を理解してもらうことを自由にできるレベルを目指します。中学1年から中学2年では英語でのコミュニケーションに必要な基礎的な知識を身につけます。ネイティブスピーカー教員によるEnglishの授業が週2時間あります。中学3年から高校1年では英語を運用する力を伸ばします。速読を意識したトレーニング、リスニングやスピーキングの技能を伸ばすための音声活動も行います。高校2年から高校3年では大学入試問題演習を中心に、国公立・難関私立大の入試に対応できる実力を養成します。



数学

次の5つの数学的な見方や考え方を身につけることを目標としています。①帰納的な考え方（具体的な例から推測し、共通に成り立つ一般的なルールをつくる）②類推的な考え方（類似する既知の事項の性質やルールが同様に成り立つとする）③演繹的な考え方（論理的規則を用いて必然的な結論を導き出す）④一般化の考え方（ひとつの対象、または集合全体で成り立つ一般性を見つける）⑤単純化の考え方（複雑なものを、簡単になる場合に置き換えをする）。数学の学習を通して、一人ひとりがこれらの能力を身につけ、伸ばせるように指導しています。



技術・家庭

技術科の木工ではできるだけ機械に頼らず、手工工具を使ったモノづくりを目指しています。さまざまな加工法を学びながらラックや電気スタンド、ラジオの製作などを通してモノづくりの楽しさや難しさを学習します。中学の家庭科では、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識や技術の習得を目指し、高校では、「衣生活」「食生活」「住生活」と「家庭経済」を実習・実験などを行いながら学びます。

保健体育

「走ること・跳ぶこと・投げること・泳ぐこと」を軸に体力の向上を図り、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力、健康の保持や増進のための実践力を育成することを目標にしています。体育の内容は、陸上競技、器械体操、ダンス、球技、武道などをクラスごとに男女共習で行います。中学1年では保健体育講座として、外部講師を招き「思春期の心と体」について学ぶ機会を設けています。

美術

美術は「描くこと、見ること、感じること」をテーマに、中学3年間を通じて、豊かな感性を育む授業を行っています。豊富な画材にふれ、多様な表現方法を体験することで創造活動の喜びを味わいます。また作品を鑑賞することによって浮かんでくる「何を表現しているの?」「どうやって描いたの?」という疑問をきっかけに、さまざまな表現活動に挑戦していきます。

音楽

音楽とは文化です。音楽を学習することで、日本と世界の文化を情報として知るだけでなく、じかに体感することができます。中学では篠笛から始め、箏との合奏を目指します。高校の芸術選択では、三線の演奏と並行し、ソルフェージュ、歌唱、創作、楽器演奏などに取り組み、世界の音楽を体感します。またグループ演奏や合唱コンクールを通して、協力しながら音楽をつくり上げる喜びも学びます。



一人ひとりの希望や個性に合わせた的確な進路指導のもと、確かな実績を上げています。

主体的に勉強する環境をつくり、
大学の先を見据えた
進路指導を行っています。



進路指導部長 大竹 直

山手生は授業やクラブ活動、北米研修プログラム、そして山手祭と充実した日々を過ごしています。その山手生が、学校にいながら大学を身近に感じられる取り組みとして、模擬講義、大学の入試課の方による説明会などを実施しています。

また、高校2年の後半になるとお互いに感化し合い、早朝や放課後の教室で勉強する生徒が現れます。校長は『『正解』のない世界を、自ら切り拓こう』とよく生徒たちに話しています。まさに、山手学院では生徒が主体的に勉強する姿勢・環境が受け継がれています。

それに加え、進路情報に精通した教員が一人ひとりにきめ細かな指導をし、生徒の学力向上ならびに希望する進路の実現をサポートしています。

また、受験には生徒本人だけでなく、保護者、教職員が一体となって向き合います。昨今の入試の変化にいち早く対応すべく「保護者のための大学入試研究会」を実施し、多くの受験情報を提供しています。

本校の進路指導は、大学に入学することを一番の目標にするのではなく、その先の未来をも見据えて行っています。受験当日に本来の力を出し切ることは難しいものですが、山手生はこれまで仲間とともに最大限の努力をしてきたという自信があるからこそ、本来の力を発揮でき、結果につなげられていると思います。

2024年合格実績

国公立大学			私立大学		
公立はこだて未来	1(1)	東京海洋	3(3)	早稲田	96(94)
北海道	5(4)	東京都立	14(13)	慶應義塾	49(46)
弘前	1(1)	横浜国立	13(13)	上智	36(36)
東北	8(8)	神奈川県立保健福祉	2(2)	東京理科	81(71)
秋田	1(1)	横浜市立	7(7)	国際基督教	1(1)
国際教養	2(2)	新潟	3(2)	明治	199(189)
山形	1(1)	長岡技術科学	1(1)	青山学院	106(101)
会津	2(2)	金沢	1(1)	立教	90(90)
茨城	2(2)	福井県立	1(1)	中央	92(89)
筑波	3(3)	山梨	1(1)	法政	117(112)
宇都宮	1(1)	都留文科	1(1)	学習院	24(23)
群馬	1(1)	信州	4(4)	成城	24(24)
埼玉	1(1)	公立諏訪東京理科	1(1)	成蹊	18(18)
千葉	3(3)	名古屋	1(1)	明治学院	73(72)
東京	1(1)	愛知県立	1(1)	國學院	29(29)
一橋	3(3)	三重	1(1)	武蔵	11(9)
東京工業	8(7)	京都教育	1(1)	日本	63(60)
東京藝術	2(1)	大阪	1(1)	東洋	50(45)
東京外国語	4(4)	山口	2(1)		
東京学芸	1(1)	鹿屋体育	1(1)		
電気通信	3(3)	水産大学校	1(1)		
東京農工	7(6)	防衛大学校	1(1)		

抜粋・（ ）内は現役生

グループ別大学合格者数推移

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
国公立	91	98	95	138	120	123
早慶上理	257	180	216	247	273	262
MARCH	420	505	555	682	634	604
卒業生数	467	478	485	591	496	478

※現浪合計

YAMATE TOPIC

オーストラリアホームステイ

2022年度から舞台をブリスベンに移し、オーストラリアホームステイが再開しました。ブリスベンとはオーストラリア北東部クイーンズランド州の南東に位置し、シドニー、メルボルンに次ぐ同国第3の都市です。同州の州都として、近代的なビルの建ち並ぶエリアもあれば、動物園や植物園など自然を楽しめるエリアもあり、オーストラリアらしさを体感できる街です。

生徒たちは各校15～20名のグループに分かれてホームステイをしながら地元の学校に通います。ホームステイでは文化や習慣の違う家庭に入り、その家族の一員として生活をともに送り、学校ではパティというペアになる現地校の生徒とともに授業に参加します。中学3年間の学びの集大成として英語力を発揮するだけでなく、肌で異文化を体感できるまたとない機会です。

滞在中、生徒たちは大きく成長し、それぞれの気づきを得ます。7日間という短い期間ですが、将来世界へと飛翔していけるような広い視野と柔軟性を育む契機となるプログラムです。



学校生活

豊かな心を育む多彩な行事と、自信と誇りを培うクラブ活動と。
山手学院では伸び伸びと充実した6年間を過ごせます。



入学式



スケッチコンクール



新入生歓迎スポーツ大会



校外活動(中2)



山手祭

クラブ活動は、何ごとも
最後までやり抜く原動力となります。



生徒会指導部長 村上 卓

山手学院の生徒は勉強だけでなく、多様な行事やクラブ活動を通して、自己表現力や社会性を育てています。例年10000人を超える方々にご来場いただく山手祭(文化祭)は学内最大の行事であり、各クラスの個性があふれる工夫を凝らした展示が見ものです。山手祭だけでなく新入生歓迎スポーツ大会でも、生徒たちが主体となって企画や運営に携わり、自分たちのアイデアを実現することができます。

クラブ活動の種類は多く、15の運動部と16の文化部から自分に合ったものを選ぶことができます。クラブ活動に積極的に参加することで、自己表現力やリーダーシップを身につけ、人間性の成長にもつながります。また、仲間とともに苦勞を乗り越えてきた自信と誇りが、その後の受験期でも最後までやり抜く原動力となっています。全員が強制的に加入する必要が無いながら加入率は大変高く、中学生全体では約9割となっています。

生徒会活動も盛んで、毎年2月に行われる選挙により選ばれた役員が生徒の代表として活躍しています。活動の範囲は幅広く、「山手祭」「新入生歓迎スポーツ大会」「卒業生を送る会」などの行事の運営だけでなく、生徒からのつぶやきを回収する目安箱を設置し、改善策を検討するなど多岐にわたります。最近では、「学校指定のセーター・カーディガンの制作企画」や、学内のごみ分別を進める「資源リサイクルプロジェクト」にも取り組みました。また学校説明会では、山手の魅力を伝える生徒代表としてスピーチをしてもらうこともあります。生徒会の役員の中にはクラブ活動でも活躍する生徒も多く、勉強以外でも何かを成し得たいという意識の高い、活気にあふれた集団となっています。

学校行事

4	■ 入学式／1学期 始業式 ■ 遠足(2・3・4・6年) ■ 北米ホームステイ(5年) ■ 模擬試験(2・3年) ■ 大学入試報告会(6年) ■ 新入生歓迎スポーツ大会	8	■ 夏期講習 ■ 2学期 始業式 ■ 第1回実力テスト	1	■ 3学期 始業式 ■ 第2回実力テスト ■ 中学合唱コンクール ■ 模擬試験(全学年) ■ ニュージーランド留学(3年) ■ 中学生徒総会
5	■ プリティッシュヒルズ英語研修(3年) ■ 校外活動(1年) ■ 1学期 中間テスト ■ 大学入試報告会(5年) ■ スケッチコンクール(1・2年)	9	■ 共通テスト説明会(6年) ■ 第2回中学漢字コンテスト ■ 模擬試験(6年) ■ 山手祭(文化祭)	2	■ 高校進学説明会(3年) ■ 共通テスト報告会(5年) ■ 漢字検定 ■ 全校ロードレース大会
6	■ 高校生徒総会 ■ オープンキャンパス ■ 第1回中学漢字コンテスト ■ 大学模擬講義(5年) ■ 大学説明会(6年)	10	■ 英語検定(2・3年) ■ 模擬試験(6年) ■ 2学期 中間テスト ■ 校外活動(2年)	3	■ 学年末テスト ■ 卒業式 ■ 芸術鑑賞会 ■ 北米研修講習(4年) ■ 命を考える講演会(1・2年) ■ 春期講習
7	■ 1学期 期末テスト ■ 中学水泳大会 ■ リターンビジット(5年) ■ 夏期講習 ■ 北米研修講習(4年)	11	■ オーストラリアホームステイ(3年) ■ 模擬試験(4・5年) ■ 第3回中学漢字コンテスト ■ 大学模擬講義(5年) ■ 進路希望調査(4・5年)		
		12	■ 2学期 期末テスト ■ 理科校外学習(1年) ■ 北米研修講習(4年) ■ 冬期講習		



クラスや学年を超えた仲間との絆を育み、学校生活を豊かにするクラブ活動も盛んです。



運 動 部		中学生の活動日の目安									
■ 空手道部		月	火	水	木	金	土	日	他		
■ 剣道部		月	火	水	木	金	土	日	他		
■ サッカー部		月	火	水	木	金	土	日	他		
■ 柔道部		月	火	水	木	金	土	日	他		
■ 水泳部		月	火	水	木	金	土	日	他		
■ 卓球部		月	火	水	木	金	土	日	他		
■ ダンス部		月	火	水	木	金	土	日	他		
■ チアリーダー部		月	火	水	木	金	土	日	他		
■ テニス部		※1日おき								他	
■ 軟式野球部		月	火	水	木	金	土	日	他		
■ バスケットボール部(男)		月	火	水	木	金	土	日	他		
■ バスケットボール部(女)		月	火	水	木	金	土	日	他		
■ バドミントン部		月	火	水	木	金	土	日	他		
■ マウンテンバイク部		月	火	水	木	金	土	日	他		
■ ラグビー部		月	火	水	木	金	土	日	他		
■ 陸上競技部		月	火	水	木	金	土	日	他		

※●必要に応じて

文 化 部		中学生の活動日の目安									
■ アニメーション部		月	火	水	木	金	土	日	他		
■ 囲碁・将棋部		月	火	水	木	金	土	日	他		
■ 演劇部		月	火	水	木	金	土	日	他		
■ 合唱部		月	火	水	木	金	土	日	他		
■ 華道部		月	火	水	木	金	土	日	他		
■ 茶道部		月	火	水	木	金	土	日	他		
■ 写真部		月	火	水	木	金	土	日	他		
■ 書道部		月	火	水	木	金	土	日	他		
■ 吹奏楽部		月	火	水	木	金	土	日	他		
■ 生物部		月	火	水	木	金	土	日	他		
■ 箏曲部		月	火	水	木	金	土	日	他		
■ ねころ部		月	火	水	木	金	土	日	他		
■ 美術部		月	火	水	木	金	土	日	他		
■ 文藝創作部		月	火	水	木	金	土	日	他		
■ ボランティア部		月	火	水	木	金	土	日	他		
■ 理工学部		月	火	水	木	金	土	日	他		

※●必要に応じて



明るく伸びやかな校風を感じさせる制服です。ネイビーブルーのブレザーに、グレンチェックのズボンにネクタイの組み合わせ、またはグレンチェックのスカートやスラックスにリボンの組み合わせを選択でき、活発なイメージです。胸のエムブレムと金ボタンがポイントです。



1966 年 4 月	山手学院中学校開校(男子のみ144名) 2年間の義務入寮制度開始	
1969 年 4 月	山手学院高等学校開校(男女共学となる) アメリカ研修旅行開始(ワシントン州デイトン市)	
1970 年 7 月	5期生より6年間全寮制度となる 交換留学生制度発足(アメリカ・カナダ・ ニュージーランド・オーストラリアより14名来日)	
8 月	リターンビジット開始 (第1回デイトン市)	
10 月	体育館完成	
1972 年 3 月	高等学校第1回卒業式	
1973 年 5 月	卒業生記念会館完成	
1980 年 4 月	高等学校通学制度導入	
1982 年 4 月	中学校通学制度導入	
1986 年 4 月	本校舎別館完成(4階建て:12教室・4部室) 理数コース設置(高等学校)	

1987 年 4 月	アメリカに加えカナダにも研修旅行を実施 北米研修旅行と改称	
1989 年 3 月	オークランドグラマー記念賞制定	
1991 年 9 月	松信賞、江守賞制定	
2002 年 11 月	オーストラリアホームステイ開始	
2005 年 3 月	特別教室棟完成 (5階建て:技術・音楽・ 被服・調理・書道・ 特別教室8教室)	
2010 年 4 月	併設型中学校・高等学校認可	
10 月	新図書館・カフェテリア完成	
2016 年 4 月	創立50周年	
2017 年 4 月	新体育館完成	

YAMATE Q&A

説明会などでよくある質問にお答えします。

学校生活について

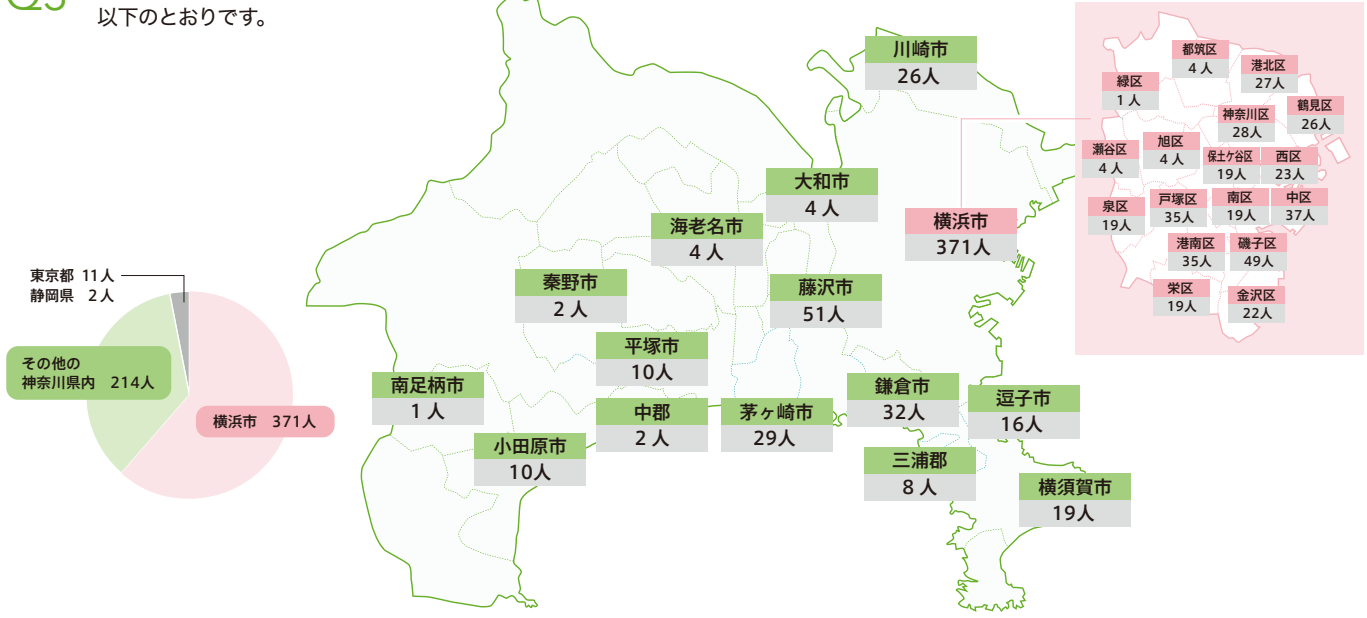
Q1 夏休みなどの長期休暇の過ごし方を教えてください。

長期休暇中は5日間1タームの講習が多数開かれ、多くの生徒が参加します。また、勉強習慣を継続するため、多くの教科から課題が出ます。8月と1月の休み明けには実力テストがあります。生徒にとってはじっくり学習に取り組める期間ともいえます。

Q2 どのような生活指導をしていますか？

生徒一人ひとりが自分の力でものを見、判断し、実際の行動に移せるようにとの目標を設定し、教育環境づくりを行っています。全体的には穏やかな生活指導ですが、集団生活でのマナー遵守や個人の尊厳を守ることにおいては厳しい姿勢で臨み、停学・退学を含めた対応も行います。

Q3 通学地域について教えてください。 以下のとおりです。



Q4 登校指導を行っていますか？

多くの生徒はJR京浜東北・根岸線の港南台駅から歩いて登校してきます。乗降客が多い駅ですので、定期的に駅から学校の間での登校指導を行い、片側通行などの交通マナーを指導しています。

Q5 宗教教育を行っていますか？

特定の宗教教育は行っていません。

Q6 学生食堂はありますか？

ガラス張りで見学のできる学生食堂（カフェテリア）があり、12時から15時までの営業時間中は、談話室や自習室としても使用できます。席数は200。事前に食券を購入して利用します。

Q7 生徒会はありますか？

充実した学校生活を送るため、選挙で選出された会長・副会長・執行委員を中心に、自主的な活動を行っています。活動は山手祭をメインに、新入生歓迎スポーツ大会や卒業生を送る会の運営・スポーツ応援などです。

Q8 自転車通学はできますか？

生徒の安全を考え、自転車通学は認めていません。

Q9 時間割について教えてください。

下記のとおりです。始業時刻は8:30、7校時終了時刻は15:35です。

● 中1 時間割表 (例)

	月	火	水	木	金
8:30～	朝読書	朝読書	朝読書	朝読書	朝読書
1	国語	美術	数学	体育	英語
2	英語	美術	理科	English	理科
3	数学	数学	English	英語	社会
4	理科	社会	国語	国語	国語
5	技術・家庭	英語	音楽・書道	数学	数学
6	技術・家庭	音楽	英語	理科	体育
7	LHR		体育	社会	学年の時間

● 中2 時間割表 (例)

	月	火	水	木	金
8:30～	朝読書	朝読書	朝読書	朝読書	朝読書
1	技術・家庭	数学	音楽	美術	数学
2	技術・家庭	社会	国語	理科	理科
3	理科	英語	英語	体育	国語
4	数学	国語	社会	数学	英語
5	英語	English	理科	社会	社会
6	体育	理科	数学	国語	English
7	LHR		学年の時間	英語	体育

● 中3 時間割表 (例)

	月	火	水	木	金
8:30～	朝読書	朝読書	朝読書	朝読書	朝読書
1	国語	国語	英語	理科	English
2	数学	数学	数学	英語	数学
3	美術・情報	英語	理科	社会	体育
4	美術・情報	体育	English	国語	理科
5	理科	社会	国語	数学	国語
6	英語	音楽	技術・家庭	体育	社会
7	LHR		社会	学年の時間	英語

● 授業は1コマ45分です。 ● 英語は週7時間 (English 2時間含む)、数学は週5時間を配当しています。

学習について

Q10 高校からの入学生もいるようですが、クラスは混在になりますか？

中学入学生は6年一貫カリキュラムになりますので、高校への進学後も高校入学生とクラスが同じになることはありません。国際交流プログラムや学校行事、一部の選択授業、クラブ活動においては、中学入学生も高校入学生と交流しながら、同じ山手生として学校生活を楽しんでいます。

Q11 土曜日には授業がありますか？

通常の授業は月～金曜日の5日間ですが、土曜日の午前中には土曜講座を開講しています。補習講座や資格試験対策講座、大学受験対策講座など多彩な講座が開講されていて、生徒たちはそれぞれのニーズに合った講座を受講することができます。勉強の講座以外に語学や教養のための文化講座も開講していて、生徒と保護者が一緒に受講できる講座もあります。
開講例 「補習英語」「補習数学」「入試小論文」「共通テスト古文・漢文」「TOEIC対策講座」「英会話」「韓国語講座」「星空とアロマ」「着つけ」など

Q12 補習はありますか？

土曜講座での補習以外にも、夏期・冬期・春期の長期休暇中には講習が実施されます。それぞれ一講習5日間程度で、基礎事項の復習から大学入試問題の演習まで、さまざまなレベルの講習が開講されます。学期中の通常授業とは違った角度から、弱点の補強や発展的な学力の強化に取り組むことができます。

Q13 指定校推薦枠について教えてください。

主 な 指 定 校 推 薦 枠 (2 0 2 4 年 度)		
横浜市立大学	国際教養学部・理学部 各1名、医学部(看護) 2名	学習院大学 経済学部・文学部・国際社会科学部 各1名、理学部 5名
早稲田大学	法学部・商学部・文学部・文化構想学部・教育学部・基幹理工学部・先進理工学部・人間科学部 各1名、創造理工学部 4名	明治学院大学 全学部 計10名
慶應義塾大学	法学部・薬学部 各1名、商学部 2名、理工学部 3名	日本女子大学 人間社会学部 3名、家政学部 2名、理学部 1名
上智大学	法学部・理工学部 各1名	東京女子大学 現代教養学部 4名
明治大学	国際日本学部・総合数理学部 各1名、理工学部 2名	成城大学 法学部、社会イノベーション学部 各2名
青山学院大学	教育人間科学部・総合文化政策学部・コミュニティ人間科学部 各1名、理工学部 5名	日本大学 経済学部・法学部・理工学部 各1名、松戸歯学部
立教大学	文学部 3名、法学部・コミュニティ福祉学部・観光学部 各1名	東京都市大学 環境学部・メディア情報学部・建築都市デザイン学部・情報工学部 各2名、人間科学部・都市生活学部・デザイン・データ科学部 各1名、理工学部 7名
中央大学	法学部・理工学部 各3名、総合政策学部・商学部 各1名	芝浦工業大学 工学部・システム理工学部・デザイン工学部・建築学部
法政大学	経済学部・グローバル教養学部・社会学部・デザイン工学部・理工学部 各1名	獨協医科大学 医学部
東京理科大学	理学部・工学部・先進工学部・経営学部 各2名、創域理工学部・薬学部 各1名	北里大学 医学部 1名、獣医学部 2名

入学試験について

Q14 2024年度の入試結果について教えてください。

以下のとおりです。

志願者／受験者／合格者／入学者

	試験日	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	実質倍率
A日程	2月1日	80	350	302	119	78	2.5
特待選抜	2月1日	60	633	572	336	37	1.7
B日程	2月3日	40	435	260	127	72	2.0
後期日程	2月6日	20	512	288	46	10	6.3
合計		200	1930	1422	628	197	2.3

男女別結果

		志願者数	受験者数	合格者数
A日程	男子	196	169	72
	女子	154	133	47
特待選抜	男子	430	394	239
	女子	203	178	97
B日程	男子	247	142	66
	女子	188	118	61
後期日程	男子	312	189	28
	女子	200	99	18
合計	男子	1185	894	405
	女子	745	528	223

2科4科別結果

		志願者数	受験者数	合格者数
A日程	2科	77	71	20
	4科	273	231	99
B日程	2科	69	52	22
	4科	366	208	105
後期日程	2科	101	72	15
	4科	411	216	31

入試得点

	合格者						受験者平均点					
	最高得点		平均点		最低点							
	2科	4科	2科	4科	2科	4科	国語	算数	社会	理科	2科	4科
A日程	183	300	139.8	242.9	128	231	62.7	55.9	44.9	47.7	118.6	213.9
特待選抜	170	—	123.4	—	105	—	50.3	57.4	—	—	107.8	—
B日程	158	294	112.5	225.5	100	202	51.3	42.9	50.5	49.4	94.2	196.3
後期日程	149	258	121.2	234.5	115	233	42.7	43.5	50.2	49.9	86.3	186.7

Q15 帰国生について教えてください。

本校では、下記の条件に該当する者を帰国生扱いにしています。

帰国生は一般の受験生と同じ試験を受けますが、一定の点数を上乗せした上で、合格を決定します。

□ 海外在留1年以上で、2022年4月以降に帰国した者。

Q16 宗教や国籍は問題になりますか？

宗教や国籍が問題になることはありません。ただ、入学後は本校が課す教科を修得し、指導に従うことが必要ですので、本校の教育内容をよく理解した上で志願してください。

Q17 合格の決定では、男女どちらを優先しますか？

男女別に募集をしていませんので、男女の区別なく総合点で合格を決定します。

Q18 特定の教科が悪い場合には、不合格になりますか？

総合点で合否を決定します。不得意な教科の失敗を少なくすること、そして、得意な教科での頑張りが合格への近道です。

Q19 山手学院が第一志望です。全日程を受験する予定です。合格の可能性ありますか？

試験の雰囲気やその年の問題傾向に慣れるためか、回数を重ねるほど得点が高くなるケースが多くみられます。また、繰り上げ合格を出すときでも、複数回受験者を優先しています。

Q20 2科・4科の選択制になっていますが、どのように合格者を決定しているのですか？

A日程・B日程・後期日程では、「2科（国・算）合計点」と「4科（国・算・社・理）合計点」の2つの合格最低点を設定します。2科受験生は2科の合計点数のみでの合否判定になりますが、4科受験生は、2科合計・4科合計のうちどちらか一方で合格最低点をクリアしていれば合格になります。

Q21 試験当日に体調をくずして発熱してしまいました。どうしたらよいでしょうか？

体調不良の場合は事前にお電話などでご連絡いただくか、試験が始まるまでに本校職員まで申し出てください。保健室受験などの対応をいたします。

Q22 入試に関する問い合わせはどのようにしたらよいでしょうか？

入試対策部で質問を受け付けています。受け付け時間は、月～金（祝日を除く）午前9時～午後4時です。
☎ 045-891-2111

諸費用について

Q23 入学時に必要な費用はいくらですか？また学費、諸費用についても教えてください。

入学時に必要な費用

入学金200,000円のみです。施設設備費（240,000円）やそれ以外の校納金は入学後の5月に納めてください。ただし、入学金を期日までに納入しないときには、入学資格がなくなります。

学費について

学費は月額59,800円です。内訳は右記のとおりです。

支払いは年6回、2カ月分ずつ銀行口座から引き落とします。

諸費用について

〈制服など〉

男子：約87,000円 女子：約91,000円（税込）

（夏服、冬服、シャツまたはブラウス 夏・冬各3枚、ネクタイまたはリボン）

〈オーストラリアホームステイ〉

（中3：6泊7日）約500,000円（令和5年度実績） 中学3年時 2回分割納入

航空運賃やその他の諸費用を含みます。

〈北米ホームステイ〉

（高2：2週間）約460,000円（令和5年度実績） 高校1年時 分割納入

航空運賃やその他の諸費用を含みます。

〈その他（年1回）〉5月引き落とし

図書館運営費6,800円、保健衛生費3,000円、生徒会費9,600円、教材費等預り金として100,000円（遠足費用、有償学用品代、副教材代、模擬テスト代等を年度末に精算します）、および父母の会入会金2,000円

Q24 学費軽減の制度はありますか？

以下の制度があります。

1.特待生制度

入学試験の成績優秀者には下記のような特待生制度が適用されます。

施設設備費・授業料全額免除（原則3年間継続）。

2.奨学金制度

入学後、経済状況が逼迫し、学業継続が困難な状況が生じた場合、学費の一部を補助する制度です。

3.弟妹割引制度

入学金・施設設備費半額免除。

Q25 保護者の海外転勤の際、在籍したままで生徒を海外に連れていくことができますか？

以下の条件で可能です。

①休学期間は最大31カ月（中学1年の2学期以降）とし、中学3年2月末日には復学すること。

②復学時に海外で在籍した学校の成績書類を提出すること。

③休学中は復学後に備えて、学力の維持に努めること。

